

令和元年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 トータルケア鍼灸学科・鍼灸健康学科

令和元年度学校関係者評価委員

■保護者

森主 比呂美 様 トータルケア鍼灸学科2年 森主洋平さん 保護者

■卒業生

遠藤 良平様 専門学校中央医療健康大学校 鍼灸科卒業生

■他校関係者

高野 信広様 中央調理製菓専門学校静岡校 上級調理経営学科 学科長

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	B
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	B
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	B

【現状の問題点】

全体的に昨年度より下がってしまったので、再度対応を検討して改善に努めたい。

【改善のための方策】

カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーなどを教室に貼りだし、常に目に見えるようにする。

【関係者評価】

・行事前になぜやるのか、やることによりどのようなことが身につくのか話をしてから行事を実施している。また、目でみて到達度がわかるものを学生に配布している。

2. 学校運営		
【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	B
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	B
13	BSCは適切に活用されているか。	B
【現状の問題点】		
前年とほとんど変わっていないのでより良い評価となるようそれぞれの項目について検討をしたい。		
【改善のための方策】		
BSCは毎月最終月曜に話し合う。		
【関係者評価】		
特になし		

3. 教育活動		
【自己評価結果】	平均	
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
14	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
15	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
16	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
17	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	B
18	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
19	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	B
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	B
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
夜間部がなくなるので話し合いの機会が増やせるように計画していけると思われる。		
【改善のための方策】		
学科教員や、専門知識を持たない事務職員に1年生授業を見学してもらうなどでフィードバックしてもらおう。		
【関係者評価】		
・教授と助手と授業を実施しながら授業評価を実施している。 (前期2回、後期2回)		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
25	就職率の向上が図られているか	A
26	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
退学者の低減対策は十分に検討していく必要がある。		
【改善のための方策】		
<p>学業不振に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の補講を実施しているが、月に1回担当教員が報告。より効果が高い方法を構築していく。 ・夜間部がなくなり、3年生も含めて補講等の対応がしやすい環境が整う。 ・中番の教員は、補講等の学業不振者の対応を行う。 <p>進路変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上級生から下級生に対しての勉強の仕方等の話をしてもらう。(卒業生から在校生に対して話をしていく。) ・現在、スポーツのみの特別講義を実施しているので、美容についても特別講義を実施し、興味を持たせる行事を充実させていく。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に来なければ、勉強もついていけなくなるため、保護者の連絡先を聴取し、遅刻・欠席が同一科目で2回あれば保護者に連絡する。 		
【関係者評価】		
以前は悩んだ時に話をしてくれていたが、今は退学を決めた時点で話に来る。ざっくばらんに話が出来る時間を設け、情報を集めていきたい。		
5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
27	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
防犯対策の一つとして裏口ドアの施錠については禁煙も一つの方法がと思われる。学生にもそうした教育をしていってはどうだろうか。		
【改善のための方策】		
裏口ドアの施錠チェック。非常勤講師にも裏口使用しないように通達する。		
【関係者評価】		
裏口は教員による施錠を徹底し、学校として対策していきたい。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
32	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A
【現状の問題点】		
施設整備については改善計画をつくって年度毎に行えるようにしていきたい。		
【改善のための方策】		
改善計画を作り、年度毎に修正を行なっていける体制を整える。		
【関係者評価】		
特になし		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
33	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法，時期は適切か。	A
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる。今後も学生確保に努力していきたい。		
【改善のための方策】		
今後も学科の特徴を明確に伝えられるように努めていく。		
【関係者評価】		
特になし		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
37	・ 中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
38	・ 学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	B
【現状の問題点】		
学生数の確保と無駄の削減という収支両面で対応を図っていきたい。		
【改善のための方策】		
定員増加を行い、学生募集を積極的に行い、入学数増加に繋げていく。 人数増加に伴い、消耗品費用がかかってきているので節約を徹底して費用削減に努める。		
【関係者評価】		
特になし		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
39	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	B
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
個人情報管理については問題意識の持ち方も重要であるので、各々が注意し合えるような環境にしていく必要がある。		
【改善のための方策】		
席を離れる時は、必ず机にしまうこと。カルテは棚にしまうことを徹底。		
【関係者評価】		
特になし		